

## IBM Db2 on Cloud

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

アプリケーションおよびサービスを構築、実行、管理するための IBM のオープン・スタンダード・クラウド・プラットフォームである IBM Cloud は、「クラウド・サービス」の技術上の前提条件です。新規ユーザーは、オンライン登録フォーム (<https://console.ng.bluemix.net/registration>) によりアクセス登録ができます。

### 1. クラウド・サービス

IBM Db2 on Cloud オファリングでは、オンライン・トランザクション処理 (OLTP) 用に最適化された Db2 データベースが提供されます。このサービスには、構造化形式でユーザー・データを保管するデータベースが含まれます。本データベースは、サービスのコンソールを介してユーザーの要件に従ってアクセスすることおよびモデル化することができます。サービスのコンソールにより、ユーザーは、テーブルの作成、テーブルへのデータのロード、およびユーザーがロードしたデータの照会を行うことができます。

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM Db2 on Cloud Fixed-Size のオファリング

###### IBM Db2 on Cloud High Availability 2.8.500

8GB RAM および 2 vCPU の、冗長の専用仮想サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500GB のストレージを提供します。

###### IBM Db2 on Cloud High Availability 12.128.1400

128GB RAM および 12 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

###### IBM Db2 on Cloud High Availability 48.1000.10000

1TB RAM および 48 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 11TB のストレージを提供します。

###### IBM Db2 on Cloud 2.8.500

8GB RAM および 2 vCPU の専用サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500 GB のストレージを提供します。

###### IBM Db2 on Cloud 12.128.1400

128GB RAM および 12 コアの専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

###### IBM Db2 on Cloud 48.1000.10000

1TB RAM および 48 コアの、専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 11TB のストレージを提供します。

##### 1.1.2 IBM Db2 on Cloud Flex のオファリング

###### IBM Db2 on Cloud High Availability Flex

「HA Flex プラン」は、高可用性構成で使用する「基本 Flex プラン」のレプリカです。これには、サービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベースとともに、4GB RAM、1 つの「コア」、データとログ用の 2GB のストレージが含まれます。

### **IBM Db2 on Cloud High Availability RAM Flex**

「RAM Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれる RAM 以外に毎月 1 ギガバイトの RAM が追加で提供されます。

### **IBM Db2 on Cloud High Availability Storage Flex**

「Storage Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるストレージ以外に毎月 1 ギガバイトのストレージが追加で提供されます。

### **IBM Db2 on Cloud Flex**

この「基本 Flex プラン」には、サービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベースとともに、4GB RAM、1 つの「コア」、データとログ用の 2GB のストレージが含まれます。

### **IBM Db2 on Cloud RAM Flex**

「RAM Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれる RAM 以外に毎月 1 ギガバイトの RAM が追加で提供されます。

### **IBM Db2 on Cloud Storage Flex**

「Storage Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるストレージ以外に毎月 1 ギガバイトのストレージが追加で提供されます。

### **IBM Db2 on Cloud Unlimited IO Flex**

「Unlimited IO Flex」は、「基本 Flex プラン」で使用された「イベント」およびオプション「HA Flex プラン」で使用された「イベント」に対して課金します。

## **1.1.3 IBM Db2 on Cloud BYOL のオフリング**

Db2 on Cloud Bring Your Own License (BYOL) オフリングには、上記の Db2 on Cloud オフリングと同じ構成が含まれていますが、お客様がこの「クラウド・サービス」で使用するためにはオンプレミス・ライセンスを所有する必要があります。詳細については、第 5.3 項「Db2 on Cloud BYOL に適用可能な条件」を参照してください。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 2.8.500**

8GB RAM および 2 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500GB の SSD ストレージを提供します。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 12.128.1400**

128GB RAM および 12 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 4800.1000.10000**

1TB RAM および 48 コアの、冗長の専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 11TB のストレージを提供します。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL 2.8.500**

8GB RAM および 2 コアの、専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500GB の SSD ストレージを提供します。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL 12.128.1400**

128GB RAM および 12 コアの専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL 48.1000.10000**

1TB RAM および 48 コアの、専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 11TB のストレージを提供します。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Flex**

「BYOL HA Flex プラン」は、高可用性構成で使用する「BYOL 基本 Flex プラン」のレプリカです。これには、サービス「インスタンス」ごとに1つのSQLデータベースとともに、4GB RAM、1つの「コア」、データとログ用の2GBのストレージが含まれます。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability RAM Flex**

「BYOL RAM Flex」では、「BYOL 基本 Flex プラン」に含まれるRAM以外に毎月1ギガバイトのRAMが追加で提供されます。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Storage Flex**

「BYOL Storage Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるストレージ以外に毎月1ギガバイトのストレージが追加で提供されます。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL Flex**

この「BYOL 基本 Flex プラン」には、サービス「インスタンス」ごとに1つのSQLデータベースとともに、4GB RAM、1つの「コア」、データとログ用の2GBのストレージが含まれます。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL RAM Flex**

「BYOL RAM Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるRAM以外に毎月1ギガバイトのRAMが追加で提供されます。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL Storage Flex**

「BYOL Storage Flex」では、「基本 Flex プラン」に含まれるストレージ以外に毎月1ギガバイトのストレージが追加で提供されます。

### **IBM Db2 on Cloud BYOL Unlimited IO Flex**

「BYOL Unlimited IO Flex」は、「基本 Flex プラン」で使用された「イベント」およびオプション「HA Flex プラン」で使用された「イベント」に対して課金します。

## **1.1.4 IBM Db2 on Cloud Hybrid の各種プラン**

IBM Db2 on Cloud Hybrid Flex の各種プランは、IBM Hybrid Data Management Platform サブスクリプション・オフリングを購入されているお客様にのみ提供されます。以下のコア、メモリー、およびストレージ、あるいはそのいずれかの値には、「クラウド・サービス」のカタログ・ページまたはその他の文書に記載された拡張の上限が適用されます。

### **IBM Db2 on Cloud Hybrid Flex Plan**

IBM Db2 on Cloud Hybrid Flex プランは、IBM Cloud でホストされるプライベート仮想サーバー上に1つのSQLデータベースを提供します。「インスタンス」ごとに、データベース・サーバーには、1つのプロセッサ・コア、4 GB RAM、ならびにデータおよびログに対する2 GBのストレージが含まれ、これらはお客様によって割り当てられます。追加の計算リソースまたはストレージ・リソースを適用して、この基本構成を超える拡張が可能です。料金は、IBM Hybrid Data Management Platform の「サービス記述書」に定められています。

### **IBM Db2 on Cloud Hybrid Flex for AWS Plan**

IBM Db2 on Cloud Hybrid Flex for AWS プランは、Amazon Web Services (AWS) でホストされるプライベート仮想サーバー上に1つのSQLデータベースを提供します。プランには、4 VPC、30.5 GB RAM、および100 GB ストレージの初期使用許諾が必要です。追加のプロセッサ・コア数、RAMのギガバイト数、およびストレージのギガバイト数を取得し、各仮想サーバーに個別に適用できます。これらは、IBM Hybrid Data Management Platform の「サービス記述書」に定められているとおりに請求されます。

## **1.2 オプション・サービス**

### **1.2.1 IBM Db2 on Cloud Geo-Replicated Disaster Node**

フェイルオーバーのために、基本のIBM Db2 on Cloud オフリングと同じ仕様の仮想サーバーまたはベアメタル・サーバーが追加で1つ提供されます。第1.1.1項「IBM Db2 on Cloud Fixed-Size のオフリン

グ」または第 1.1.2 項「IBM Db2 on Cloud Flex のオフファリング」または第 1.1.3 項「IBM Db2 on Cloud BYOL のオフファリング」に記載されたオフファリングで使用することができます。

## 1.3 アクセラレーション・サービス

### 1.3.1 IBM Db2 on Cloud Jump Start

スタートアップ・アクティビティーについて最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには以下が含まれます。(1) ユース・ケースによる支援、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールのベスト・プラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス、(4) その他管理および構成に関して関心のある主題。(以下総称して「スタートアップ・アクティビティー」といいます。) サービスは「エンゲージメント」ごとに購入されます。

### 1.3.2 IBM Db2 on Cloud Accelerator

「スタートアップ・アクティビティー」、または 1 つ以上の相互に同意した「個別契約書」において購入時に明記し、範囲を規定した他の活動の実施について、最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。サービスは「エンゲージメント」ごとに購入されます。

## 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=26807B304DE611E69D99A7F65171374C>

## 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック ([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_overview.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)) に掲載されています。

高可用性計画の 可用性サービス・レベル	非高可用性計画の 可用性サービス・レベル	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」* の割合)
99.99% 未満	99.5% 未満	10%
99% 未満	99% 未満	25%

\*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

### 3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM

サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

## 4. 料金

### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「個別契約書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「エンゲージメント」とは、「クラウド・サービス」に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「ギガバイト - 月」は、「クラウド・サービス」で使用、保管、または構成された、1 か月の平均「ギガバイト」数で、端数は「ギガバイト」単位で切り上げられます。
- 「イベント」は、「クラウド・サービス」が処理する、または「クラウド・サービス」の利用に関連する、特定のイベントが 1 回発生することをいいます。
- 「仮想プロセッサ・コア」は、標準容量の仮想化されたプロセッサで、「クラウド・サービス」で利用できるか、または「クラウド・サービス」により管理されるものになります。

### 4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

## 5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

### 5.1 イネーブリング・ソフトウェア

「イネーブリング・ソフトウェア」は、以下の条件で提供されます。

イネーブリング・ソフトウェア	適用されるライセンス条件 (ある場合)
IBM Data Server Driver Package v11.1	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/A13348EC3D451D5F852580890042140B?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/A13348EC3D451D5F852580890042140B?OpenDocument</a>
IBM Data Server Manager Enterprise v2.1	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/lilookup/F0B7F3B557A73D4C852580830079A197?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/lilookup/F0B7F3B557A73D4C852580830079A197?OpenDocument</a>
IBM Data Studio v4.1	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/8EE7B373D3B303F085257EC40040DDE0?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/8EE7B373D3B303F085257EC40040DDE0?OpenDocument</a>
IBM Database Conversion Workbench v4.0	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/1DB8E7F370D1B84E85257FA3004F99BF?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/1DB8E7F370D1B84E85257FA3004F99BF?OpenDocument</a>
IBM InfoSphere Data Architect v9.1	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/2BB03C6D51BC9FC385257EC40040DFC5?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/2BB03C6D51BC9FC385257EC40040DFC5?OpenDocument</a>
IBM InfoSphere DataStage v11.5	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/B94C06F394B45EA685257ECB007716AB?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/B94C06F394B45EA685257ECB007716AB?OpenDocument</a>
IBM InfoSphere DataStage and QualityStage Designer v11.5	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/C2AAB3F9A435FC1285257ECB00772255?OpenDocument">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/C2AAB3F9A435FC1285257ECB00772255?OpenDocument</a>

## 5.2 コンテンツおよびデータ保護に関する機能および責任

「クラウド・サービス」には、以下のセキュリティー機能が実装されています。

「クラウド・サービス」のプロビジョニングの際に、1人の管理ユーザーがお客様のために作成されます。Db2 on Cloud コンソールでは、追加のユーザーを作成する機能が管理ユーザーに提供されます。お客様は、コンソールによって定義されたユーザー、およびユーザーに割り当てられたアクセスのレベルを管理する責任を全面的に負うものとします。

管理ユーザーおよび標準ユーザーのどちらも、「クラウド・サービス」の外部で実行される IBM Db2 クライアント・プログラムを使用して、「クラウド・サービス」のデータ・ストアに直接アクセスすることができます。お客様は、お客様の要件に従って、かかるアクセスがセキュリティー保護されるようにする責任を全面的に負うものとします。例えば、お客様は、ネットワーク・トラフィックの保護のために SSL が使用されるように、クライアントを設定することができます。

本「クラウド・サービス」では、お客様は、テーブルなどの一定のデータベース・オブジェクトに関連するアクセス権限を管理することができます。お客様は、かかるアクセス権限について、割り当て、管理、および見直しを行う責任を全面的に負うものとします。

「クラウド・サービス」のデータベースは自動的に暗号化されます。暗号化には、256 ビット長の鍵を伴う、Cipher-Block Chaining (CBC) モードによる Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。また、データベースのバックアップ・イメージは、自動的に圧縮および暗号化されます。バックアップ・イメージは、256 ビット長の鍵を伴う、CBC モードによる AES を使用して暗号化されます。

## 5.3 Db2 on Cloud BYOL に適用される条件

BYOL (Bring Your Own License) オファリングでは、お客様は、下表に明記された関連 IBM プログラムの適切なライセンス資格を事前に取得する必要があります。BYOL SaaS に対するお客様の使用許諾は、下記の比率で、関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾を超えることはできません。

BYOL オファリングには、関連 IBM プログラムのサブスクリプション & サポートは含まれていません。お客様は、関連 IBM プログラムに対する適用可能な (1) ライセンス資格、および (2) サブスクリプション & サポートを予め取得していることを表明するものとします。BYOL オファリングのサブスクリプション期間中、お客様は、BYOL オファリングの使用許諾と併せて使用する IBM プログラム使用許諾の現在のサブスクリプション & サポートを維持する必要があります。関連 IBM プログラムを使用するためのお客様のライセンス、または関連 IBM プログラムのお客様のサブスクリプション & サポートのいずれかが終了した場合、お客様の BYOL オファリングを使用する権利は終了します。

下表は、規定された対応する使用許諾に基づいた BYOL オファリングの使用に必要な関連 IBM プログラムの使用許諾の比率の概要を説明したものです。

お客様は、以下の期間 (以下「同時使用期間」といいます。) にわたって、BYOL オファリングのお客様による使用と同時に、関連する IBM プログラムを導入するために BYOL オファリングの使用に適用される、関連する IBM プログラムの使用許諾を引き続き使用できます。サブスクリプション期間が 3 年未満のお客様については、BYOL オファリングの初期サブスクリプションをお客様が開始してから 90 日以内。サブスクリプション期間が 3 年以上のお客様については、BYOL オファリングの初期サブスクリプションをお客様が開始してから 1 年以内。「同時使用期間」の終了後、BYOL オファリングを使用する間、BYOL オファリングの使用に適用される関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾は中断され、お客様はそれ以降、当該使用許諾を使用して、関連 IBM プログラム (規定された例外の対象) をデプロイすることはできません。

関連 IBM プログラム	BYOL オファリング	比率 n/m*
IBM Db2 Advanced Enterprise Server Edition	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. IBM Db2 on Cloud BYOL 2.8.500</li> <li>b. IBM Db2 on Cloud BYOL 12.128.1400</li> <li>c. IBM Db2 on Cloud BYOL 48.1000.10000</li> <li>d. IBM Db2 on Cloud BYOL Flex</li> <li>e. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 2.8.500</li> <li>f. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 12.128.1400</li> <li>g. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 48.1000.10000</li> <li>h. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Flex</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 比率: 140 PVU / 1 インスタンス</li> <li>b. 比率: 840 PVU / 1 インスタンス</li> <li>c. 比率: 3360 PVU / 1 インスタンス</li> <li>d. 比率: 70 PVU / 1 インスタンス</li> <li>e. 比率: 240 PVU / 1 インスタンス</li> <li>f. 比率: 940 PVU / 1 インスタンス</li> <li>g. 比率: 3460 PVU / 1 インスタンス</li> <li>h. 比率: 170 PVU / 1 インスタンス</li> </ul>
IBM Db2 Advanced CEO IBM Db2 Developer Edition	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. IBM Db2 on Cloud BYOL 2.8.500</li> <li>b. IBM Db2 on Cloud BYOL 12.128.1400</li> <li>c. IBM Db2 on Cloud BYOL 48.1000.10000</li> <li>d. IBM Db2 on Cloud BYOL Flex</li> <li>e. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 2.8.500</li> <li>f. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 12.128.1400</li> <li>g. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 48.1000.10000</li> <li>h. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Flex</li> </ul>	比率: 1- N の許可ユーザー/1 インスタンス**/**
IBM Hybrid Data Management Platform On Premise	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. IBM Db2 on Cloud BYOL 2.8.500</li> <li>b. IBM Db2 on Cloud BYOL 12.128.1400</li> <li>c. IBM Db2 on Cloud BYOL 48.1000.10000</li> <li>d. IBM Db2 on Cloud BYOL Flex</li> <li>e. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 2.8.500</li> <li>f. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 12.128.1400</li> <li>g. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability 48.1000.10000</li> <li>h. IBM Db2 on Cloud BYOL High Availability Flex</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 比率: 122,920 Flexpoint/1 インスタンス</li> <li>b. 比率: 737,520 Flexpoint/1 インスタンス</li> <li>c. 比率: 2,950,080 Flexpoint/1 インスタンス</li> <li>d. 比率: 61,460 Flexpoint/1 インスタンス</li> <li>e. 比率: 210,720 Flexpoint/1 インスタンス</li> <li>f. 比率: 825,320 Flexpoint/1 インスタンス</li> <li>g. 比率: 3,037,880 Flexpoint/1 インスタンス</li> <li>h. 比率: 149,260 Flexpoint/1 インスタンス</li> </ul>

\* 「比率 n/m」は、関連 IBM プログラムに対して示された測定基準の使用許諾数ごと (以下「n」といいます。) に対して、お客様が当該使用許諾を、BYOL オファリングに対して示された測定基準について記載された数 (以下「m」といいます。) の使用許諾に適用できることをいいます。

\*\* Db2 Advanced CEO Offering および Db2 Developer Edition に関する例外: 上記の条件にかかわらず、お客様が Db2 Advanced CEO Offering または Db2 Developer Edition のいずれかの「許可ユーザー」使用許諾を BYOL オファリングに適用する場合、お客様の「許可ユーザー」使用許諾の合計は、その数量に関係なく、BYOL オファリングに対する 1 つの「インスタンス」使用許諾に適用できます。ただし、以下の追加条件に基づきます。(1) お客様は、お客様による BYOL オファリングの使用と同時に、お客様による関連 IBM プログラムのデプロイメントに対してすべての「許可ユーザー」使用許諾を引き続き使用できますが、(2) お客様が関連 IBM プログラムに対して使用許諾を有する「許可ユーザー」のみが BYOL オファリングにアクセスしたり、使用したりできることが条件となります。

\*\*\* Db2 Developer Edition の例外: 上記の制限に加え、お客様が Db2 Developer Edition の使用許諾を BYOL オファリングに適用する場合、お客様による BYOL オファリングの使用は、「非実稼働」使用のみに制限されます。「非実稼働」とは、BYOL オファリングが、お客様の内部非実稼働活動用のお客様内部の開発およびテスト環境の一部としてのみ、使用することができることをいいます。非実稼働活動には、テスト、性能調整、故障診断、内部ベンチマーク、ステージング、品質保証活動または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用する社内使用の BYOL オファリングに対する追加もしくは拡張の開発が含まれますが、これらに限られません。お客様は、「クラウド・サービス」のいかなる部分も、実稼働に関する適切な使用許諾を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。

## 6. オーバーライド条件

### 6.1 Db2 on Cloud Offerings for AWS に適用可能な条件

両当事者間の「クラウド・サービス」基本条件にいかなる矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します。

お客様の「クラウド・サービス」使用許諾が「AWS 用」と指定されている場合には、以下の条件が適用されます。

「クラウド・サービス」のアプリケーション層、ならびにお客様のデータおよびコンテンツは、IBM が運用していない、第三者クラウド・サービスのインフラストラクチャーおよびプラットフォーム上で稼働します。「クラウド・サービス」インフラストラクチャー、「クラウド・サービス」プラットフォームの特定の側面、および関連サービス (データセンター、サーバー、ストレージ、ネットワーク、アプリケーションおよびデータのバックアップ、ファイアウォールおよび脅威検知、ならびにアプリケーション・デプロイメント、モニタリングおよび運用向けの API を含みます。) (以下、総称して「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」といいます。) は第三者プロバイダーによって運営・管理されます。従って、本「サービス記述書」、または本「クラウド・サービス」の提供条件となる基本サービス契約 (例: 「IBM クラウド・サービス契約書」) (以下「基本契約」といいます。) のいかなる規定にも関わらず、以下の定めが適用されます。

- a. 「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」のプロバイダーが、自らのサービスを終了した、または IBM もしくはお客様のかかるサービスへのアクセスを中止したことを IBM に通知した場合、IBM は、(i) 機能的に同等の IBM がホストする「クラウド・サービス」オファリングへのアクセスをお客様に提供する、または (ii) お客様に終了通知を提供することにより第三者プロバイダーによるかかる終了の効力が発生する日をもって「クラウド・サービス」を直ちに終了することができます。
- b. IBM は、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に関して、または「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に依存している範囲における「クラウド・サービス」に関して、明示または黙示を問わず、いかなる条件も設けず、いかなる保証責任も負わないものとします。



## 6.2 医療情報に関するコンテンツおよびデータ保護

Health Insurance Portability and Accountability Act of 1996 (医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律、以下「HIPAA」といいます。)および本「クラウド・サービス」で「医療情報」および「医療」データを「個人データの種類」および「個人データの特殊カテゴリー」(以下総称して「医療データ」といいます。)またはそのいずれかの許可される使用に関して、本「クラウド・サービス」の「データ・シート」に記載された情報にかかわらず、本「クラウド・サービス」による「医療データ」の使用には以下の制限事項および条件が適用されます。

以下の Db2 on Cloud オファリングのみが、「医療データ」の使用に関する「HIPAA プライバシーおよびセキュリティ規則」に基づいて求められる制御を実装するために実施されるプロビジョンの対象です。

- IBM Db2 on Cloud 12.128.1400
- IBM Db2 on Cloud High Availability 12.128.1400
- IBM Db2 on Cloud 48.1000.10000
- IBM Db2 on Cloud High Availability 48.1000.10000
- IBM Db2 on Cloud Flex
- IBM Db2 on Cloud High Availability Flex

上記オファリングは、お客様が IBM に、お客様が「クラウド・サービス」で「医療データ」を使用することを事前に通知し、IBM が書面により、「クラウド・サービス」が「医療データ」の使用のためにプロビジョニングされることを確認した場合、「医療データ」の使用に対して「HIPAA プライバシーおよびセキュリティ規則」の制御を実装するためにのみ提供されます。したがって、「クラウド・サービス」は、HIPAA に基づいて保護されている「医療データ」の伝送、保管、またはその他の使用のために使用することはできません。ただし、(i) お客様が IBM にかかる通知を提供する場合、(ii) IBM とお客様が適用される「事業提携契約」を締結している場合、および (iii) IBM がお客様に「クラウド・サービス」を「医療データ」と併用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。

いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「医療データ」を処理するために「クラウド・サービス」を使用しないものとします。